

令和8年第6回教育委員会議事録

開 催 日 時 令和8年6月26日（金）

午前9時30分～午前10時50分

場 所 八潮市役所会議室4-2

出席者	教 育 長	井 上 正 人
	教育長職務代理者	加 藤 正 道
	委 員	木 下 史 江
	委 員	高 橋 洋 一
	委 員	橋 本 珠 美
事務局出席者	教 育 部 長	千 葉 靖 志
	教 育 部 理 事	猪 原 誠 一
	教育部副部長兼社会教育課長	倉 林 昌 也
	教育部参事兼文化財保護課長兼資料館長	横 山 道 男
	教育部副部長兼保健給食課長	山 内 修
	教 育 総 務 課 長	松 本 啓 介
	新設小学校準備室長	柳 町 貴 栄
	新設小学校準備室主幹	古 川 剛
	社会教育課主幹兼公民館長兼図書館長	藤 田 啓 介
	文化財保護課副課長兼文化財保護係長	関 絵 美
	保 健 給 食 課 主 幹	竹 田 紘 子
	小中一貫教育課長	山 口 朋 幸
	小中一貫教育課主幹	坪 田 桂 樹
	教育総務課庶務主任	北 條 佑 輝
	教育総務課庶務係育休代替任期付職員	鈴 木 智 子

《開会の言葉及びあいさつ》 井上教育長

《会議事項》

1. 会議録の承認について

(1) 令和8年第5回教育委員会定例会分

(2) 令和8年第1回教育委員会臨時会分

[出席教育委員全員が承認]

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第30号 八潮市学校教育審議会委員の委嘱について

[説明者 松本教育総務課長]

八潮市学校教育審議会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市学校教育審議会規則第3条第1項の規定により議決を求める。

令和8年6月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 新たに八潮市学校教育審議会委員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑)

○木下委員

プールについてですが、このままですと、近いうちに対応しないと使用できなくなるような学校はありますか

●松本教育総務課長

八幡小学校につきましては、すでにプールに不具合が生じており、使用できない状況であることを考慮して、現在は委託により水泳授業を実施しております。

また、その他の学校のプール施設につきましても、全体的に老朽化が進んでおります。現時点では必要な修繕を行いながら対応していますが、修理を要する箇所や件数は、今後も減少することはないと考えております。そうした状況も踏まえ、全体を俯瞰しながら、できるだけ早期に方向性を取りまとめてまいりたいと考えております。

○加藤教育長職務代理者

学校教育審議会は、年間で何回程度開催されているのでしょうか。

●松本教育総務課長

現段階では、年４回の開催を予定しております。

○橋本委員

委員名簿の中で、公募により選任された新任のお二人は、どのような方々でしょうか。

●千葉教育部長

お１人はプールの指導者で、もうお１人は学童保育の指導員をされている方です。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 3 1 号 八潮市教育行政点検評価委員会委員の委嘱について

[説明者 松本教育総務課長]

八潮市教育行政点検評価委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市教育行政点検評価委員会設置要綱（令和 3 年 4 月 1 日教育長決裁）第 3 条の規定により、議決を求める。

令和 8 年 6 月 2 6 日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 委員の退職に伴い、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 3 2 号 指定管理者候補者の募集要項及び仕様書について

[説明者 松本教育総務課長]

八潮市立新設学童保育所における令和 9 年度からの指定管理者制度の導入に当たり、指定管理者候補者の募集要項及び仕様書について、議決を求める。

令和 8 年 6 月 2 6 日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 八潮市立新設学童保育所における令和 9 年度からの指定管理者制度の導入に当たり、指定管理者候補者の募集要項及び仕様書を定めるため、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 33 号 八潮市社会教育審議会委員の委嘱について

[説明者 倉林教育部副部長兼社会教育課長]

八潮市社会教育審議会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市社会教育審議会条例（平成 11 年条例第 21 号）第 4 条の規定により、議決を求める。

令和 8 年 6 月 26 日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 任期満了に伴い、新たに委員を委嘱したいので、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 34 号 八潮市教育委員会専門員の委託事項等について

[説明者 竹田保健給食課主幹]

八潮市教育委員会専門員（以下「専門員」という。）に委託する事項等について別紙のとおり定めたいので、議決を求める。

令和 8 年 6 月 26 日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 八潮市教育委員会専門員設置要綱第 5 条及び第 6 条に基づき、専門員の委託する事項及び任期について定めたいため、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第35号 八潮市学校給食事業推進専門員の委嘱について

[説明者 竹田保健給食課主幹]

八潮市学校給食事業推進専門員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市教育委員会専門員設置要綱第4条の規定により、議決を求める。

令和8年6月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 新たに八潮市学校給食事業推進専門員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑)

○加藤教育長職務代理者

給食センターの整備基本構想及び基本計画の策定は、いつ頃を予定しているのでしょうか。

●竹田保健給食課主幹

現時点での目標ではございますが、来年度の9月か10月頃を目途に案を策定したいと考え、計画を進めております。

○木下委員

学校給食事業推進専門員は、お一人だけなのでしょうか。今回担っていただく役割は非常に大きいと思いますので、業務の負担や責任の面も含めて、どのような体制で進めていくのか、お聞かせください。

●竹田保健給食課主幹

学校給食事業推進専門員は1名ですが、今年度は学校給食審議会を設置し、15名の委員の皆様からご意見をいただく予定です。専門員と学校給食審議会での意見を踏まえながら、策定に向けて進めてまいりたいと考えております。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育部長

2点ご報告いたします。

まず、令和8年第2回八潮市議会定例会の一般質問の答弁についてでございます。

今回は、朝田議員・小宮議員・池谷議員・二木議員からそれぞれご質問をいただき、答弁をいたしました。

まず、朝田議員でございますが、学校避難所運営会議の開催についてご質問をいただき、今年度中の開催に向けて準備をしていきたいと答弁いたしました。

次に、小宮議員からは、八條北小学校と八條小学校の統合について、八條小学校敷地内に八條中学校を建築する際の校内セキュリティはどのように行われるのかというご質問をいただき、現時点では工事手法・セキュリティ対策は決まっていないため、今後、工事を発注する際は、学校運営に支障のない施工方法やセキュリティ対策について検討し、安全確保に努めていくと答弁いたしました。もう一点が、八條北小学校の学童保育所を利用している児童への対応についてで、既存のはちじょう学童保育所については、令和8年度に定員を拡充したことから、同学童保育所をご利用いただくことを想定している旨を答弁しました。

次に、池谷議員からは、「希望する全ての児童の入所を保障する学童保育事業の整備について」として、令和8年度の入所決定状況や入所できなかった児童・保護者への対応、希望者全員が入所できる体制整備についてご質問をいただきました。これに対し、希望する学童保育所に入所できない場合は、他の学童保育所をあっせんしていること、また、令和8年度においては、あっせんした児童のうち、保護者の意向により辞退された児童を除く全ての児童が入所しており、待機児童は発生していない旨を答弁しました。また、待機児童対策として令和8年度には新たに3か所の学童を設置したほか、花桃小学校にも新たな学童整備を進めており、今後もニーズを的確に把握し、適宜・適切に対応していくとの答弁をしました。

最後に二木議員からは、熱中症対策について、学童保育所に通う児童の夏季外遊びの対応についてご質問をいただき、熱中症アラートなどの情報や実際の活動場所における気温や湿度、児童の体調などを勘案し、活動する場所を判断し、熱中症対策をおこなっていると答弁しております。

議会答弁につきましては以上でございます。

次に、令和8年5月受付分の市民の声ボックスについてでございます。教育総務課が学童保育所に関することで3件、社会教育課は図書館に関することで1件ございました。それぞれ担当課長からご説明させていただきます。

●松本教育総務課長

それでは、教育総務課所管分のご質問、ご意見について、ご説明いたします。

今回は3件のご質問、ご意見をいただいております、すべて学童保育所関連の内容についてでございます。

1つ目は、「やわた学童保育所ですが、18時半までで終了となるのが共働きにとって厳しいです。公設学童なのに、終了時間が学童ごとにそれぞれ異なるのでしょうか。」というご質問でございます。

このご質問に対しましては、学童保育所のご利用に際し、ご不安やご負担をおかけしていることをお詫びしたうえで、公設の学童保育所の開所時間の延長については、学童保育所における保育体制を維持するための人員の確保、運営条件の変更に伴う各学童保育所の現場対応、費用負担の在り方、各小学校との調整等の様々な課題があり、また、学童保育所の指定については、放課後に学校から学童保育所へ移動する際の安全性等を考慮し、利用できる施設を学校ごとに指定していることから、保護者の送迎を基本とする保育所等のように、自由に施設を選択できない仕組みであることをご説明しております。

しかしながら、今回のご質問の趣旨のとおり、働き方の多様化に伴う保護者の皆様のニーズに適切に応えていくため、公設の学童保育所の開所時間について

は、課題の整理を行いながら、調査・検討を進めてまいりたい旨をご回答しました。

次に、2つ目のご質問は「学童について、早急に改善しない理由を教えてください。①学童の待機児童を公表しない。②専願制のまま運用している。」というご質問でございます。

このご質問に対しましても、学童保育所のご利用に際し、ご不安やご負担をおかけしていることをお詫びしたうえで、市内には、公設公営、公設民営、民設民営と複数の運営形態の学童保育所があり、公設公営は市に申込み、公設民営の一部及び民設民営は各学童保育所に直接申込みの方式をとっており、学童保育所の選考については、公設公営は市が選考を行う一方、公設民営の一部及び民設民営については、各学童保育所において個別に選考を行っているため、複数の施設に申込みを可能とした場合、同時に複数の入所決定をしてしまう恐れがあるなど、各施設における選考に支障が生じることや、全ての施設の申込人数、入所人数等の一括での把握が困難であることから、複数の施設への申込受けは行っていないことをご説明しております。

また、児童は学校終業後に学校から学童保育所へ移動するため、移動時の安全性等を考慮し、学童保育所は小学校の学区内への整備を基本としており、保護者の送迎を基本とする保育所のように自由に施設を選択することができない仕組みとなっていることを併せてご説明しております。

最後に、3つのご意見でございますが、「学童の終了時間が場所によって異なるようです。私は現在9時から18時で勤務しており、私が出社になるとお迎えができません。学童時間の見直し等を考えていただけますと幸いです。」というご意見でございます。このご質問に対しましても、学童保育所のご利用に際し、ご不安やご負担をおかけしていることをお詫びしたうえで、学童保育所の平日の終了時間については、市が直営の学童保育所は午後6時30分まで、民間が運営する学童保育所は、6ヵ所が午後7時30分、1ヵ所が午後7時となっており、それぞれ終了時間が異なっている状況についてご説明したうえで、市が直営の

学童保育所の終了時間を延長するためには、保育体制を維持するための人員の確保、運営条件の変更に伴う各学童保育所の現場対応、費用負担の在り方、各小学校との調整等の様々な課題があり、これらの課題の解決に向けた取り組みを行い、保護者の皆さまのニーズ等を踏まえ、適切な終了時間となるよう検討してまいりる旨をご回答しております。

教育総務課所管分につきましては、以上でございます。

●**藤田社会教育課主幹**

続きまして、社会教育課図書館係への投書について、報告させていただきます。内容といたしましては、「落ち着いて読書や自己研鑽ができる公共空間や、子どもが自然と触れ合いながら自由に遊べる場所が、限られている。公園と図書館を併設した複合施設の整備について、ご検討いただけますと幸いです。」というものでした。

回答につきましては、調整のうえ、公園みどり課と社会教育課とでそれぞれ作成し、お答えしたところです。社会教育課といたしましては、現在の市の計画としては、サービスを充実させたうえで、八幡図書館と八條図書館、そして、駅前図書窓口の3か所での体制を維持していくこととなっておりますと回答しつつ、八潮駅前公園に隣接した八潮駅高架下の「やしお子育てほっとステーション」への配本事業を行い、八潮駅近くの子育て世代の皆様にも絵本等を手に取っていただけるサービスを実施していることを紹介し、また、今後も各種サービスの向上に努めてまいりますと回答させていただきました。

社会教育課所管分につきましては、以上でございます。

●**猪原教育部理事**

私からは大きく2点です。

まず、令和8年第2回八潮市議会定例会一般質問の答弁の内容についてですが、7名の議員の皆様方からご質問をいただいております。

まず初めに大島議員からは、小規模特認校制度を利用して通学している方々への配慮不足や子どもに直接意見を聞くことをしない理由などについてのご質

問が中心でした。答弁といたしましては、子どもたちが適正配置の全体像を理解することが難しいという点から、現時点では意見聴取は行っていない旨をお答えしております。一方で、今後の統合にあたりましては、子どもたちの意見を十分に聞き取りながら、まずは心のケアを最優先に対応し、全力で取り組んでまいりたいとご答弁させていただきました。

金子議員からは、通学路の安全確保ということで、大曾根小学校の通学路の東側の安全についての再質問がございました。答弁といたしましては、通学路は基本的には学校側で決定するものであることをお伝えした上で、教育委員会としても連携しながら、児童の安全を第一に考えて対応していく旨をご答弁させていただきました。

大泉議員からは、八條地区の学校統合についてご質問をいただきました。特に、小規模特認校で入学した児童生徒への配慮についてのご質問でした。答弁といたしましては、大島議員と同様に答弁をさせていただきました。

続いて、土屋議員からは、移動式プラネタリウムを活用した科学教育についてのご質問をいただきました。答弁といたしましては、八條公民館で実施した事例をご紹介します。今後も科学教育を通して、子どもたちの知的探求心を高めていく旨を回答させていただきました。

続いて、小宮議員からは、八條北小と八條小の統合についてのご質問をいただきました。特に、実施してきました審議会の答申の中にある付帯意見についてのご質問が中心でございました。答弁といたしましては、いずれの付帯意見につきましても、今後、真摯かつ丁寧に対応していく旨ご答弁をさせていただきました。

続いて、岡部議員からは、学校における校外活動（学習）等の現状と安全管理についてのご質問をいただきました。答弁といたしましては、沖縄県での校外活動中における船舶転覆事故や、磐越自動車道での部活動遠征中の自動車事故の事例について触れた上で、「危機管理マニュアル」等に基づき本市の学校では対応していること、また機会あるごとに見直しや修正を行い、内容の充実を図っている旨を回答させていただきました。また、バスの運行や運転手の管理について、

学校側でできることはないかというご質問がありましたが、業者に対して、発注者である学校が安全管理を確実にできるよう、改めて徹底を求めるという趣旨で答弁させていただきました。

最後に、内田議員からは学校給食についてということで、6月は、私たちが忘れてはならない月ということで、今後の給食センター設置へ向けてのスケジュールなどについてご質問をいただきました。答弁といたしましては、基本方針が完成したことから、今後は整備に向けた基本計画及び基本設計を進めるとともに、安全・安心な給食の提供を確実に実現することを最優先に、できるだけ早期に整備できるよう全力で取り組んでいく旨の答弁をさせていただきました。

以上が一般質問の答弁になります。

続きまして、学校の様子についてご報告させていただきます。

学校の様子についてですが、まず熱中症対策という点では、各学校において適切に対応しているところでございます。6月上旬には暑い日が続いたこともあり、登校時の服装や水分補給、ネッククーラーや日傘の使用などについて、例年より前倒しして、子どもたちや保護者に周知を行いながら、各学校で柔軟に対応している状況でございます。

また、中学校では学校総合体育大会の地区予選会が実施されました。この大会は運動部活動の集大成となる大会であり、3年生にとっては、敗退すると部活動を引退する節目の大会となっております。県大会への出場状況について申し上げますと、まず八潮中学校は陸上部の生徒が多数県大会に出場しております。大原中学校では、バドミントン男子団体、男子ダブルスおよび女子個人、ソフトテニス男子個人、剣道団体の男女が県大会に出場し、特に女子は地区優勝を果たしております。また個人では男子2名、女子3名が県大会に出場しております。陸上競技についても多数が県大会に出場しております。八條中学校では陸上で1名が県大会に出場しており、女子100メートルハードルでは地区1位となっております。八幡中学校では柔道男子団体が優勝し県大会に出場するほか、陸上競技でも多数が県大会に出場しております。潮止中学校では硬式テニス男子ダブル

ルスが地区1位となり県大会に出場しており、陸上競技でも多数が県大会に出場しております。なおハンドボールにつきましては、市内でクラブ化を進めており、「大原ハンドボールクラブ」として複数の中学生が合同チームで活動しております。このクラブは県大会にはオープン参加として出場いたしますが、女子チームは地区優勝を果たしております。

続いて、管理職である校長先生方の人事評価に係る当初面談につきまして、先般、教育長とともに実施いたしました。市内全15校の校長先生方から、今年度一年間の学校経営方針についてお話を伺う機会を設けております。年度当初に教育長から「愛と想像力」を持って学校経営に取り組んでほしいとの話があり、その点も踏まえ、全15名の校長先生方にご意見を伺いました。多くの校長先生からは、子どもに対してしっかりと愛情を持つこと、また子どもや保護者、教職員の立場に立ち、相手がどのように受け止めるかを考えるなど、想像力を働かせながら学校運営に取り組むことが重要であるとのご意見をいただいております。さらに、一部の校長先生からは、子どもや保護者、教職員に加え、地域の方々の声にも想像力を働かせる必要があるとのご意見もございました。

同様に、支援担当訪問につきましては、先生方の授業に対し、事務所の方からご指導をいただく訪問であり、市内全15校を対象に実施しているところでございます。まだ全ての学校は終了しておりませんが、既に数校で開始しており、それぞれの学校において一つの課題に向かい、教職員が協力しながら研究を深めている状況でございます。教員の指導技術の向上については、技術を高めること自体に偏りがちではありますが、その目的はあくまで子どもたちの学力向上にあるという本質を踏まえ、ご指導いただいているところでございます。

また、教育委員会といたしましても、訪問のみならず機会あるごとに授業参観等を行い、小中一貫教育の視点や手法を念頭に置きながら指導を行っているところでございます。年間を通じて継続的に取り組んでいる状況でございます。一学期も残りわずかとなっておりますが、現在のところ子どもたちの重大な事故等は発生しておりません。引き続き、何が最も大切かという点を意識しながら、

校長先生方が充実した学校経営を行えるよう、教育委員会としても全力で支援してまいります。

●松本教育総務課長

それでは、①の学童保育所について、令和8年度の学童保育所の待機児童対策についてご説明いたします。

教育総務課資料1をご覧ください。

まず、現状でございますが、これは、本年2月26日時点での学童保育所別の申請状況でございます。

資料にございますとおり、はちじょう、けやき、コビーST、おおぜ、おおぜのもり、わかくさ、コビーしおどめ、コビーやしおの8つの学童保育所において、それぞれ申請数が入所決定数を上回り、146人の待機児童が発生する状況となっております。

なお、申請数としては、令和7年度比で70人の増となっており、これに対して、同じく令和7年度比で14人増の入所決定をいたしましたが、この時点での待機児童数は令和7年度比で69人の増となったものでございます。

この状況に対し、まず2ページ目の対策を講じております。

具体的には、はちじょう学童に新たに1支援定員30人を増設し、さらに、学校教室を活用し、おおそね学童保育所、しおどめ学童保育所、なかがわ学童保育所の3つの学童を開設いたしました。

このことにより、八條小学校、大曾根小学校、潮止小学校及び中川小学校では待機児童を解消することができました。一方、大瀬小学校では、ちくみキッズクラブの弾力運用をさらに促進し、追加の受入れを行ったものの、当初は23人の待機児童が生じました。そこで、追加の対策として、大瀬小学校区の待機児童について、なかがわ学童保育所で受け入れることとした結果、最終的には、令和8年度当初において待機児童の解消に至っております。最終的な入所決定者は998人となり、これは、令和7年度実績に対して107人の増となっております。

続いて、「八潮の教育」についてでございます。

こちらは、教育委員会の組織概要、沿革、教育予算、学校給食、小中一貫教育等について毎年度とりまとめをおこなっているものでございます。今年度も関係機関にご協力をいただき、現時点で校正したものを配付させていただきました。製本ができましたら、改めて委員の皆さまに配布させていただきます。よろしくお願いいたします。

●倉林教育部副部長兼社会教育課長

教育委員会の事業ではございませんので次第には掲載しておりませんが、教育委員の皆様にもご報告させていただきたく、追加でご説明させていただきます。

本事業は子ども家庭部の事業でございますが、7月1日から、学習活動を主とした子どもの居場所づくりの一環として、市内の公共施設を活用し、子どもの学習スペースを開放することとなっております。利用対象は原則として小学生・中学生・高校生であり、教育委員会所管施設では「りらーと八幡」「りらーと八條」および「資料館」を提供いたします。主に夏休み期間を中心に、空調の整った環境の中で学習等ができるスペースとして開放するものでございます。今後、ホームページへの掲載や子ども家庭部によるプレスリリース等を通じて周知を図っていく予定でございますが、教育委員会所管施設も活用することから、本日ご報告させていただくものでございます。

●横山教育部参事兼文化財保護課長兼資料館長

文化財保護課からの報告・連絡事項は1点でございます。

5月23日に実施しました、体験講座「消しゴムはんこづくり」の実施結果についてご報告させていただきます。

今回の体験講座では、消しゴムはんこづくりを行いました。参加者数は小学生5名を含む15名で、講師は当館の職員2名が務め、資料館ボランティア3名が

サポートを行いました。始めに日本におけるはんこの歴史を学んだ後、各々が好きなデザインの下書きを作成してから、消しゴムに転写し、デザインナイフで彫ってはんこを作成いたしました（サンプルを見せる）。講座終了後のアンケートでは、内容的には多少難しい部分はありませんでしたが、ほとんどの方が大変満足であったとの結果でした。今回の講座を通じて、はんこの歴史と時代背景を学び、歴史に少し興味をもっていただけたのではないかと考えております。

●竹田保健給食課主幹

3点ご報告をいたします。

まず、1件目の「学校給食費収納状況について（令和7年度確定版）」についてご説明申し上げます。今回は、令和7年度の収納状況の確定版でございます。令和8年3月時点の小・中学校を合算した収納率は99.94%、未納額は16万6,710円となっております。

続きまして、「学校給食センター整備基本構想及び基本計画策定等支援業務委託プロポーザルの選定結果等について」ご報告いたします。

今年度より2年かけて、給食センター整備基本構想及び基本計画を策定する予定でございます。新たに設置する学校給食センターの様々な課題に対応するにあたって、民間事業者のノウハウを活用しながら、取り組みを進めてまいります。このため、公募型プロポーザル方式により事業者を選定し、6月8日に株式会社建設技術研究所と契約を締結いたしました。また、学校給食審議会を設置し、給食センター整備に関する様々な課題についてご意見をいただきながら、協議を進めてまいります。なお、審議会委員のうち2名は公募により選定する予定です。委員の委嘱につきましては、8月定例会に議案を提出する予定としております。今後も、審議会等の進捗状況につきましては、本定例会において随時ご報告いたします。

続きまして、学校給食の衛生検査についてご報告いたします。

5月29日（金）に、外部の専門検査機関へ委託している学校給食の衛生検査を実施いたしました。今回は、給食提供事業者の調理場及び潮止小学校、中川小学校、潮止中学校の配膳室を対象に検査を行いました。検査員からは、いずれの施設も衛生状態は良好に保たれているとの講評をいただいております。引き続き、配膳室をはじめ各教室の整理整頓を徹底するとともに、害虫の発生防止にも十分留意するよう、改めて各校へ依頼したところでございます。

●山口小中一貫教育課長

令和8年5月・6月の事件・事故報告及び、令和7年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査についてご説明させていただきます。

5月・6月の事件・事故報告は合計23件。内訳は、迷惑行為3件、生徒間トラブル3件、暴力行為3件、いじめ2件、虐待疑い2件、負傷救急搬送2件、負傷校内事故1件、喫煙1件、熱中症1件、暴言1件、バイクの無免許運転二人乗り1件、不審者情報1件、器物破損1件、窃盗1件、でございました。負傷や熱中症等につきましては、いずれも大事に至ることなく、現在は元気に登校することができています。また、中学生の生徒指導事案が大変多くなっている現状ではありますが、各校、管理職を中心に、決して担任や顧問・担当学年任せにすることなく、組織で根気強く丁寧に対応してくださっています。なお、昨今の校外活動中や部活動遠征移動中の事故、先日、東京都北区の小学校で発生した火災事故といった報道を受け、国や県からの通知もございましたが、現在、八潮市内各小中学校におきましても、「危機管理マニュアルの見直し」及び「危機管理体制の総点検」を実施しております。

続きまして、暴力行為、いじめ、不登校についてのまとめについてでございます。

まず、暴力行為につきましては、小学校では特に大きく減少しております。該当校については、一昨年度、「たたかれた・つねられた」といった軽微なものも計上していたところ、県からの指導もあって、計上基準を見直しております。一

方、中学校では高止まりしており、この傾向を楽観視することなく、重大事故やいじめにつながるような暴力行為の根絶に向けて、対応策の検討・実施を進めてまいります。

次に、いじめにつきましては、積極的な認知、小さいいじめも見逃さない対応を各学校にお願いしております。一昨年度と比較して、認知件数が大幅に減少している学校は、八潮市いじめゼロ防止条例施行10年の取組の成果であり、一方、認知件数が大幅に増加している学校は、心の健康観察アプリを活用するなどして認知の強度を挙げた結果であると捉えております。なお、全小中学校において、いじめ解消率は100%となっております。

最後に、不登校につきましては、市内各小中学校における不登校児童生徒数の合計が3年連続で200人を超え、中学校では小中一貫教育を導入した当初と同程度、小学校では、導入当初を大幅に超える発生率となっております。小学校6年生の中学校入学時、いわゆる中1ギャップによる不登校生徒の増加はもちろん、近年では、小学校低学年の不登校児童の増加も目立ち、大変な危機感を持っております。

八潮市教育委員会といたしましては、校長会や生徒指導部会、不登校特別対策協議会や小中一貫教育Labo等で情報を共有し、支援策・対応策の検討、実施を進めてまいります。

●坪田小中一貫教育課主幹

八潮市立小中学校管理規則の改正につきましてご説明いたします。

今回、学校管理規則の改正を予定している部分といたしましては、夏季休業日を延長し、2学期を9月1日からとするものでございます。令和7年度の夏は、平年よりも気温が高く、最も暑い夏であったと報道がありました。今年度も暑くなるという予測もあることから、今年度は8月末を臨時休業日とし、9月1日を2学期の始業式としたところを、正式に規則を改正し、9月1日から2学期を開始したいと考えております。

現在は、規則改正（案）を作成しており、8月26日～9月24日においてパブリックコメントを実施し、市民の皆様からのご意見を伺い、規則改正をする予定です。今後も進捗状況につきましてご報告してまいります。

〔 教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑 〕

○木下委員

学童についてですが、「市民の声ボックス」にも保護者の方から切実なご意見をいただいております、教育委員会としても様々な課題に向き合っていることが資料からも確認できました。その中で、公設の学童についてお伺いします。公設の学童保育の終了時間について施設ごとに差があることは承知しておりますが、公設の学童のみについて、その状況を教えていただきたいと思います。

●松本教育総務課長

公設学童につきましては、会計年度任用職員が直接対応を行っている学童が5か所ございます。内訳は、わかくさ学童保育所、やわた学童保育所、やなぎのみや学童保育所、だいはら学童保育所、はちじょう学童保育所の5か所でございます。

また、指定管理により運営を委託している学童も公設となりますが、こちらは、どんぐり学童クラブ、はちじょうきた学童保育所、おおぜ学童保育所の3か所でございます。

○木下委員

例えば、民営で運営している学童の終了時間についてですが、遅いところでは何時まで対応しているのでしょうか。

●松本教育総務課長

基本的に民設民営の学童につきましては、午後7時30分まで対応していただいております。ただし、「おおぜのもり学童クラブ」につきましては午後7時までの運営となっております。

○木下委員

保護者の皆様からのご意見をいただく中で、教育委員会だけの取組ではなく、市としてもこうしたニーズにしっかり対応していく必要があり、私自身も声を上げていかなければならないと感じました。その上で、もう1点伺いますが、令和7年度における利用状況と比較して、今後令和9年度、10年度にかけて利用する子どもの数は増加すると見込んでいるのでしょうか。それとも、現状と同程度で推移すると見ているのでしょうか。

●松本教育総務課長

傾向といたしましては、利用者は増加している状況でございます。特に要因としましては、今年度は高学年、4年生から6年生の利用が増えている点が挙げられます。保護者の安全意識の高まりや、「家庭で一人にしておけない」といったご事情もあり、高学年の利用率が上がっているものと考えております。

また、駅周辺を中心に共働き世帯の保護者の需要が高く全体的に学童保育所の利用率が上昇しており、この傾向は当面継続するのではないかと考えております。

○高橋委員

今回の学校給食センター整備基本構想及び基本計画策定等支援業務委託プロポーザルにおける業者選定に関しまして、株式会社建設技術研究所につきましては、整備構想の策定等に関してどの程度の経験を有しているのでしょうか。

●竹田保健給食課主幹

八潮市新庁舎の建設基本計画策定支援業務の実績がある事業者であり、また他自治体においても学校給食センター整備に関する支援業務を数多く手がけていることから、実績は十分に有している事業者であると認識しております。

○橋本委員

学校給食の衛生検査の結果についてですが、潮止小学校、中川小学校、潮止中学校の検査項目や詳細な結果については、ホームページ等で保護者の方へ公表されるのでしょうか。それとも各学校への周知にとどまるのでしょうか。

●竹田保健給食課主幹

検査結果についてホームページでの公表は行っておりません。ただし、検査当日に何らかの指摘事項があった場合には、その場で学校の管理職へ伝達するとともに、後日、検査結果の報告書が届いた段階で、当該学校へ結果を持参し、内容について説明を行っております。

○橋本委員

先ほどの子どもの居場所づくりとして、市内3か所のスペースを活用することでしたが、主に夏休み期間の利用とのことでした。この利用対象となる年齢、また対象者については、小学生、中学生のみなののでしょうか。

●倉林教育部副部長兼社会教育課長

原則、小学生・中学生・高校生を対象としておりますが、それ以外の方の利用を一律に制限しているものではございません。

また、先ほど申しあげました3か所は教育委員会所管の施設でございますが、その他にも、市役所本庁舎2階のキッズスペースや、八潮メセナ、コミュニティセンター、ゆまにて等においても利用可能となっております。

○加藤教育長職務代理者

事件・事故報告についてですが、毎回件数が多い状況にありますが、特に暴力行為等において、2年生男子という記載については、同一の生徒によるものなののでしょうか。

●山口小中一貫教育課長

同一の生徒も含まれております。複数回繰り返し発生している事案もある状況でございます。現在、元警察官のサポートも受けながら対応しており、増員についても計画するとともに、警察との連携を強化しながら対応しているところでございます。

○橋本委員

同じく事件・事故の中で「暴言」とありますが、これは生徒から教員に対するものという理解でよろしいのでしょうか。内容について、もう少し詳しく教えていただきたいと思います。

●山口小中一貫教育課長

生徒から教員に対して暴言があったという事案でございます。教員が指導を行い、謝罪を求めましたが、生徒は謝罪できないということで指導に従わず、感情が高ぶり、プロジェクターを蹴るなど、周囲の物に対して荒れるような行動があった事案でございます。先ほど申し上げた、複数回繰り返している生徒でございます。

○木下委員

オンライン授業についてお伺いします。2020年以降、各学校ではタブレットを活用したオンライン授業等の対応が進められていると思いますが、例えば何らかの事情で長期の休校となった場合に、八潮市ではすぐにオンライン授業へ切り替えられる体制は整っているのでしょうか。

●山口小中一貫教育課長

コロナ禍の際に、国や県の補助金を活用し、各校に研修用のパソコン等を整備し、オンライン授業が実施できるよう、学校規模に応じて配備してまいりました。当時は休校期間中に、教員が教室から各家庭へ向けて授業を配信するなどの対応も行っており、その経験がございますので、今後同様の事態が生じた場合にも、一定程度迅速に対応できる体制は整っているものと考えております。

一方で、当時から時間が経過しており、人事異動等により当時の経験を持たない職員も多くなっていることから、今回の「危機管理マニュアル」の見直しや危機管理体制の検討と併せて、有事の際における学びの保障の体制づくりについても、改めて学校に働きかけ、再確認を行ってまいります。

また、タブレット端末の持ち帰りや活用が日常化していることも踏まえ、学校と家庭をつなぐ体制についても、改めて確認し、整備を進めてまいりたいと考えております。

○高橋委員

令和7年度の給食費の収納状況についてですが、未納額が「166,710円」となっております。最終的には徴収されるものと認識しておりますが、今年度から小学校の給食費が無償化されている中で、給食ではなく弁当で昼食を取っている児童はいるのでしょうか。また、そうした児童がいる場合、給食費無償化の対象となる金額との差額については、どのように取り扱っているのでしょうか。

●山内教育部副部長

小学校の給食費の無償化につきましては、今年度4月から開始しておりますが、不登校の児童も含め、アレルギーや宗教上の理由等により給食を喫食できない児童も一定数いらっしゃいます。そうした児童への対応につきましては、国からは在籍児童数に応じた月額の交付を受けているところでございますが、その取り扱いについては現時点で確定しているものではなく、本市のみならず全国的にも検討が進められている状況でございます。各自治体において裁量の余地がある部分でもあり、現在まさに検討段階でございます。今後、必要に応じて補正予算を市議会に計上し、ご承認をいただいた上で進めていくこととなります。

〔 教育長が定例会閉会の宣言をする 〕

会議終了。